【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成28年11月4日(2016.11.4)

【公開番号】特開2016-91140(P2016-91140A)
【公開日】平成28年5月23日(2016.5.23)
【年通号数】公開・登録公報2016-031
【出願番号】特願2014-222228(P2014-222228)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｆ　3/0488　(2013.01)
Ｇ０６Ｆ　3/023　(2006.01)
Ｈ０３Ｍ　11/04　(2006.01)
Ｇ０６Ｆ　3/048　(2013.01)
Ｇ０６Ｆ　3/0481　(2013.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　3/048　６２０
Ｇ０６Ｆ　3/023　３１０Ｌ
Ｇ０６Ｆ　3/048　６５１Ｂ
Ｇ０６Ｆ　3/048　６５８Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成28年9月7日(2016.9.7)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００９
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００９】
そこで、本発明では、文字列に対するソフトウェアキーボードの操作による入力をする際に、ユーザの入力にかかる手間を軽減することが可能な情報処理装置、制御方法、及びプログラムを提供することを目的とする。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１０
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１０】
上記課題を解決するための第１の発明は、ソフトウェアキーボードを備えた情報処理装置であって、入力された文字を含む文字列を表示部へ表示する表示手段と、前記表示部へ表示された文字列へ前記ソフトウェアキーボードのキーを移動させる操作を受付ける移動操作受付手段と、前記移動操作受付手段によって受付けた前記キーの移動先となる位置に基づいて、当該キーから特定される操作を前記文字列に対して実行する実行手段と、を備えたことを特徴とする。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
上記課題を解決するための第２の発明は、ソフトウェアキーボードを備えた情報処理装

置の制御方法であって、前記情報処理装置は、入力された文字を含む文字列を表示部へ表示する表示ステップと、前記表示部へ表示された文字列へ前記ソフトウェアキーボードのキーを移動させる操作を受付ける移動操作受付ステップと、前記移動操作受付ステップによって受付けた前記キーの移動先となる位置に基づいて、当該キーから特定される操作を前記文字列に対して実行する実行ステップと、を実行することを特徴とする。

【手続補正４】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１２
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１２】

上記課題を解決するための第３の発明は、ソフトウェアキーボードを備えた情報処理装置で読取実行可能なプログラムであって、前記情報処理装置を、入力された文字を含む文字列を表示部へ表示する表示手段と、前記表示部へ表示された文字列へ前記ソフトウェアキーボードのキーを移動させる操作を受付ける移動操作受付手段と、前記移動操作受付手段によって受付けた前記キーの移動先となる位置に基づいて、当該キーから特定される操作を前記文字列に対して実行する実行手段と、して機能させることを特徴とする。

【手続補正５】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１３
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１３】

本発明によれば、文字列に対するソフトウェアキーボードの操作による入力をする際に、ユーザの入力にかかる手間を軽減することができる、という効果を奏する。

【手続補正６】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】

ソフトウェアキーボードを備えた情報処理装置であって、
入力された文字を含む文字列を表示部へ表示する表示手段と、
前記表示部へ表示された文字列へ前記ソフトウェアキーボードのキーを移動させる操作を受付ける移動操作受付手段と、
前記移動操作受付手段によって受付けた前記キーの移動先となる位置に基づいて、当該キーから特定される操作を前記文字列に対して実行する実行手段と、
を備えたことを特徴とする情報処理装置。

【請求項２】

前記実行手段は、前記移動操作受付手段によるキーの移動操作が、前記表示部へ表示されているカーソルの位置に対応する操作である場合に、カーソル位置により前記キーから特定される操作を前記文字列に対して実行することを特徴とする請求項１に記載の情報処理装置。

【請求項３】

前記実行手段は、前記移動操作受付手段によってキーの移動先となる位置が、前記表示部以外である場合、前記表示部へ表示されているカーソルの位置に前記キーから特定される操作を前記文字列に対して実行することを特徴とする請求項１または２に記載の情報処理装置。

【請求項４】

前記キーから特定される操作は、前記キーが押下されることによって所定の機能を動作するものであり、
前記実行手段は、前記移動操作受付手段によって受付けた前記キーの移動先となる位置に基づいて、当該キーから特定される所定の機能を前記文字列に対して動作させることを特徴とする請求項１乃至３の何れか１項に記載の情報処理装置。
【請求項５】
前記移動操作受付手段は、移動しているキーを示す第一のキーを第二のキーに対して移動することで、前記第一のキー及び前記第二のキーをあわせて移動し、
前記実行手段は、前記移動操作受付手段によって前記第一のキー及び前記第二のキーがあわせて移動された移動先となる位置に基づいて、当該第一のキー及び第二のキーから特定される操作を前記文字列に対して実行することを特徴とする請求項１乃至４の何れか１項に記載の情報処理装置。
【請求項６】
前記移動操作受付手段は、移動しているキーの移動先となるキーを、移動ごとに追加してあわせて移動し、
前記実行手段は、前記移動操作受付手段によってあわせて移動されたキーの移動先となる位置に基づいて、当該あわせて移動されたキーのそれぞれのキーから特定されるそれぞれの操作を前記文字列に対して実行することを特徴とする請求項１乃至５の何れか１項に記載の情報処理装置。
【請求項７】
前記表示部へ表示された文字列に対する操作位置にカーソルを移動させる移動手段と、
前記実行手段は、前記移動手段によるカーソルの移動を行うことなく、前記文字列に対する操作を実行することを特徴とする請求項１乃至６の何れか１項に記載の情報処理装置。
【請求項８】
前記表示部へ表示された文字列の選択を受け付ける選択受付手段と、
前記選択受付手段によって選択を受け付けた文字列を移動させる操作を受け付ける文字列操作受付手段と、
前記文字列操作受付手段によって表示部外へ選択された文字列を移動することで、前記表示部から当該文字列を削除する削除手段と、
を備えたことを特徴とする請求項１乃至７の何れか１項に記載の情報処理装置。
【請求項９】
前記選択受付手段は、前記入力された文字が変換されることにより伏された文字からなる文字列が表示部へ表示されている場合、前記表示部へ表示された文字列の選択を受け付けないことを特徴とする請求項８に記載の情報処理装置。
【請求項１０】
前記文字列操作受付手段によって選択された文字列をキーへ移動させることで、前記表示部に表示された前記文字列と、前記キーから特定される文字列と、を入れ替える文字列入替手段を備えたことを特徴とする請求項８または９に記載の情報処理装置。
【請求項１１】
前記文字列入替手段は、前記キーから特定される所定の動作を前記表示部に表示された前記文字列に対して行うことを特徴とする請求項１０に記載の情報処理装置。
【請求項１２】
ソフトウェアキーボードを備えた情報処理装置の制御方法であって、
前記情報処理装置は、
入力された文字を含む文字列を表示部へ表示する表示ステップと、
前記表示部へ表示された文字列へ前記ソフトウェアキーボードのキーを移動させる操作を受付ける移動操作受付ステップと、
前記移動操作受付ステップによって受付けた前記キーの移動先となる位置に基づいて、当該キーから特定される操作を前記文字列に対して実行する実行ステップと、

を実行することを特徴とする情報処理装置の制御方法。
【請求項１３】
ソフトウェアキーボードを備えた情報処理装置で読取実行可能なプログラムであって、
前記情報処理装置を、
入力された文字を含む文字列を表示部へ表示する表示手段と、
前記表示部へ表示された文字列へ前記ソフトウェアキーボードのキーを移動させる操作を受付ける移動操作受付手段と、
前記移動操作受付手段によって受付けた前記キーの移動先となる位置に基づいて、当該キーから特定される操作を前記文字列に対して実行する実行手段と、
して機能させることを特徴とするプログラム。